



みささ 議会だより



第89号 平成25年（2013年）1月号

主な内容……12月定例会の概要・一般質問

第60回 三朝町成人式

平成25年1月13日三朝町文化
ホールで開催

に・・・。負債(借金)を返済できるのか・・・？

みささの未来は・・・？

万円必要になったこと。

三点目に、設備の老朽化が挙げられる。

一つには、空調設備。現在は、全館冷暖房方式であり、各部屋での調節が出来ないために、苦情が相次いでいる。空調設備の全面改修には多大の費用が必要。

二つには、浴場に行くのに、階段があり、高齢者の利用に支障をきたしている状況。
という説明であった。

借金はいくら？

では、プランナールみささの現在の負債（借金）は、どれだけあるのか。

企業債（建設したときの借金）で、7億3千万円。長期借入金が、3億3千万円。一時借入金、2億5千万円ということで、合計13億1千万円となっている。

このなかで他の会計から借りているお金は、5億円。その他は民間金融機関から借りている。

問題点は

管理者から新たに、今後6年間継続して出資を受けたいと議会全員協議会に提案された。

問題は、今後、町の一般会計から毎年、数千万円規模で出資すれば、負債（借金）がきちんと返済されていくのか、ということである。

管理者からは、経営計画が出されてはいる。職員の採用や、各種プランの立案などである。また、業務体制の強化・営業面の強化などを計画している。

議会全員協議会では、様々な意見が噴出した。「指定管理者制度を導入すべきではないか」「経営診断をすべき」など。

しかし、指定管理にすると、現在の借金を町の

一般会計から返済しなくてはならない。さらに老朽化した施設の改修費用が必要となる。ということでもある。

今後の方向性について議会全員協議会において協議されたが、結論は出ていない。

ただし、その前に開催された所管委員会である「産業民生常任委員会」において「6年計画案は認められない。計画の前に、再度経営について外部による診断を受け、国民宿舎事業の方向性を示すべきだ」とされている。

今後、この問題について議会として、しっかりと議論していかなければならない。

その他

※防災行政無線システムデジタル化の業務請負契約を解除。

内容は、H23年6月定例会にプロポーザル予算の計上。H24年1月にプロポーザルの募集をし、3社が応募して2月に設計業者を決定

業者名 エヌ・ティ・ティ・データ・カスタマーサービス(株)中国支社

設計委託費 18,700千円

H24年5月7日 設計委託業務の契約をしたが、12月10日までに、契約が履行できないことが判明し、この度、契約を解除したものです。今後は、プロジェクトチームを組織して再度検討される。

※みささ美術館を「指定管理」に。

内容は、「三朝町多目的展示施設の設置及び管理に関する条例」を、制定しました。

特 集

ブランナール

少しこの問題について、経緯と課題を取りあげてみたいと思う。

歴史は

ブランナールみさは、旧名称は三朝温泉会館という名称で、現在の場所に一部を改築し新設された宿泊施設となっている。「三朝温泉会館」は、昭和38年にオープンした。この年は、小鹿、三徳、三朝、旭、竹田の5ヶ村が合併して三朝町が誕生して10年目の節目の年でもあった。

当時は、温泉プールも併設して、多くの利用者で賑わったようである。また、交通網の発達による観光ブームで三朝温泉を訪れる人が急増した。それを反映するかのように、旅館が新設され、大規模・デラックス化してきた。昭和37年には37軒だった旅館が、1年後には44軒と7軒も増えているのである。昭和40年5月には、天皇・皇后両陛下を三朝温泉に迎えるなど、毎年、温泉客は増え続け、三朝温泉が活気づいていくのである。と同時に、「三朝温泉会館」の宿泊者も徐々に増え続けていき、結婚式などでは「全国で一番結婚式が多い国民宿舎」と言われ、年間100組ぐらいの結婚式があったともいわれていた。一方で、昭和55年には、三朝温泉初の「おかみの集い」が開かれて、誘客などについて活発な意見が出された。しかし、この頃から、温泉客は徐々に減少し始めるのである。これを打破しようということで、昭和63年「ラーバン・ルネッサンス・プラン」を答申したが、昨年この計画は変更となり事実上消失した。平成8年をピークに、三朝温泉宿泊客は、減少し続けて、現在では37万人を切る状態。



資金不足の原因

このようななか、「ブランナールみさの資金不足問題」が、議会全員協議会で協議されたのである。

協議では、管理者より次の説明がなされた。まず、資金不足の原因はなんなのか？

一点目に、企業債の償還が挙げられる。簡単に言ってしまうと、平成7年に建て替えた建物の借金である。これが、現在約7億3千万円残っており、利子等も払わなくてはならず、平成11年度決算で単年度収支において初めての赤字（3千万円）となった。結果的に、施設の目玉であるコンベンション機能は収益の向上には結びつかなかった。

二点目に、退職手当組合特別負担金が挙げられる。これは、正職員の早期退職により、退職手当組合の特別負担金が発生。平成23年度までに払わなくてはならない特別負担金の支払総額が6千

12月定例議会

総務教育常任委員会

健康福祉課

Q 特定健診受診率が低いことについて国保運営協議会でも協議したが、例えば自費で人間ドックを受けた人のデータがわかれば受診率にも反映するのではないか。

A ドックのデータをいただくのもいいが、医療機関の負担も大きくなる。旅館に勤めている人の中にも国保の方がおられるので、受診結果をいただくことができれば、わずかであっても受診率に反映できる。

Q 町民へ健診アンケートをとっていると思うが、人間ドックを受けるので特定健診は受診しないといった理由がつかめるのではないか。

A 3月末に行う検診調査は、がん検診に関するものである。

特定健診未受診理由については、来年2月に実施する集団の特定健診受診勧奨とあわせ把握する予定である。

危機管理課（防災行政無線デジタル化設計業務の進捗状況）

Q 今、町の防災無線はアナログだが、これはもう使えないという事か？

A 現在の防災無線のアナログ施設は、老朽化して部品調達が難しくなってきたことから、将来的にデジタル化する必要がある。

Q NTTデータカスタマーサービスができないということになれば、当初に三朝町が目的としていたシステムをクリアできる業者がありそうか？

A 今後、全国の事例等を見て、三朝町としての最適な方法というものをこれからプロジェクトチームの中で考えていきたいと思っています。

教育委員会（三朝町総合文化ホール
の改修について）

Q なぜ改修するのか？

A 文化ホールと図書館につきましましては、30m以上の強風が吹く場合は使用禁止という措置をしております。公共施設ですので風によって使用禁止という措置を解除したいと強い思いをもっています。

Q トレーニングセンターの屋根が腐食している。来年度補修しないと雨漏りするようになる。十分に現場を見て対応する必要があるのでは？

A 平成24年度予算でどういう工法でもっていったらどうかということ、を事前調査していただきました。平成25年度予算を考えています。

産業民生常任委員会

農林課

○第64回全国植樹祭、及び第42回全国林業後継者大会について

三朝町において後継者大会が

開かれ、全国から林業に係わる人約150人、県内から250人が参加予定。

町内の農業者（若手）の参加も推進すべき。

○平成24年度「おいしい三朝米コンテスト」について

イベントとして一定の評価はできるが、町内全体としての米の販売戦略を考えないといけない。

町民課

○賀茂保育園を再び福生会に指定管理者として管理委託する。

企画観光課

○三朝温泉観光商工センター改築事業スケジュールについて

観光商工センターの改築に向けて、今年度は設計業者の選定を行い、平成25年度から平成26年度にかけて実施設計及び現施設の解体、改築工事を実施し、本体工事については、平成26年度前半の完成を目指したい。

○みささ美術館の指定管理者制度導入等に関するスケジュール

みささ美術館の指定管理者導入に向けては、平成25年1月から2月にかけて公募を行い、候補者選考を経て3月には決定したい。そして、準備期間を経て、7月以降指定管理者による管理を開始したい。

○三朝温泉開湯850年記念事業

の概要について

開湯850年記念事業の取り組み、発信・変革・創造・再生・連携の5つのキーワードに沿って、それぞれの事業計画を立てていき、三朝温泉の機運を上昇させていきたい。

建設水道課

○新三朝橋歩道橋整備について

工程は、下部工の1期工事は平成25年3月末まで。2期工事は1月から7月。上部工は3月から翌年2月を予定。

橋は5、6月までは通行止めとなり、こども園のオープンには間に合わない。

○新三朝橋補修工事について

橋桁の塗装があり、春にあわせて塗装したい。

○砂原ポンプ場移転工事について

県との用地交換に時間がかかるために、移転工事を平成25年度とする。

ブランナールみささ

○平成24年度前期の決算報告

宿泊客は前年度をやや上回っているが、経済状況の低迷のあおりを受けて、特に休憩者の減少が著しい。

6人の議員が一般質問



知久馬二三子議員

環境美化

問 温泉街等観光地の環境美化について

答 広報活動とあらゆる教育活動の場で声を高める

知久馬

三朝温泉街を中心にして砂原から福祉センターの辺りまで歩いて、気が付くのが、たばこの吸い殻や空き缶のポイ捨て、そして犬のふんがそのままになっていく状態が見受けられ、この状態を見ると、町全体が汚

町長

いという印象を受けます。町として、環境美化の取り組みをどうしておられるのか。

三朝温泉や三徳山といった観光地を抱えているのが三朝町にとっては地域環境を損なうだけでなく、観光地のイメージダウンにもつながる。本町では、毎年春と秋の二回、各集落の協力により町内全域を対象にした一斉清掃を行っている。

町長

確かに、町内一斉清掃等の取り組みにより、空き缶等のポイ捨てについての減少は見受けられますが、まだまだあるのが現状です。環境美化の向上は、町民一人ひとりの意識が大切であると思います。が、今後の取り組みはどう考えられるのか。

環境を美しくするために広報媒体として、町報並びに防災行政無線を通して広報を行う。あらゆる教育活動の場で声を高めていくよう配慮していく。

町民の健康

問 一般健診、ガン検診に加えて、認知症の検診はできないか

答 認知症に対する正しい知識の普及と意識啓発をしながら今後検討する

知久馬

来年1月から3月にかけて、それぞれのガン検診の受診率が50%になるよう受診を呼びかけてほしい。

知久馬

高齢者の中には認知症が多くなっている中、認知症の検診を取り入れたらどうでしょうか。

町長

国では、がん対策を一層推進するため、がん対策基本法が平成19年4月1日に制定され、がん対策推進基本計画を策定し、平成2年度から平成28年度におけるがん検診全体の受診率を50%と目標を掲げて進めている。

町長

本町では、昨年度策定した三朝町高齢者計画、第5期介護保険事業計画において、認知症に対する正しい知識の普及と意識啓発、早期に医療機関を受診できるような支援体制の整備を図る事を定めております。

町として受診しやすいがん検診の体制づくりを進める。

人口減少

問 定住対策、人口減少について

答 一生懸命努力

藤井

現在、三朝町において定住対策案が示され、町外から三朝町に新築されて来られた方には、お米を1年分提供され、空き家購入などにより転入される方には、家屋の改造資金に対し上限20万円の助成などがあります。

新築に対するお米の提供については、



藤井克孝議員

数件の実績があるようですが、家屋の改造資金については実績があつたようには聞いておりません。

定住対策を促進するためには、助成制度の拡充を打ち出す事が必要であると考え、町長のお考えを伺う。

町長

また、三朝町の人口統計では、小鹿地区200世帯で595人、三徳地区259世帯で761人、三朝地区では1,148世帯で2,770人、高勢地区125世帯で322人、賀茂地区では606世帯で1,889人、竹田地区では301世帯で769人となっています。また平成23年度1年間で死亡さ

れた方は116人で、男性64人、女性52人であり、平成24年4月から10月末までは、男性46人、女性31人の67人です。

こうした人口減少の状況もあつて、集落自体が維持できない集落も現れており、現在集落では、区長もいない状況もある。今後そういった集落が増えてくる可能性が十分あると思います。

こういった状況に對しての対策について伺う。

本町にとって人口減少に歯止めをかける施策として、定住対策を積極的に進めていくことは大変重要なことだと考えています。

平成23年度より三朝町すまいる応援事業と、三朝町空き家バンク事業を実施しております。

すまいる応援事業は、三朝米を1年分プレゼントするもの

であり、昨年度は5家族、今年度は現在まで2家族で計7家族の方が事業を利用されています。

空き家バンク事業については、本年度より県外から本町に移住される方が空き家を購入または賃貸され改修される場合の経費に対し、20万円を上限として助成する制度を創設しましたが、現在この空き家バンクに登録いただいている方はありません。したがって、まして助成の制度、援助していく制度そのものに欠陥があるのかなというふうに思うのが一つと、提供する事によって家の権利を失うのではないかとというように深く考えられすぎているのではないかと思います。

藤井

三朝町の人口減少のあり方で、集落自体が維持できない集落等が、今現在増えて

町長

世帯数が10軒未満の集落が17集落、人口10人未満の集落が6集落あり集落の維持ができない状態となつていゝるなか、施策としてどのように今後考えられていかれるのか。

藤井

村の歴史を大事にしたいと思い、それぞれの村が長い長い年月をかけて今日を作り上げてきておられ、現実に世帯数が減っている。あるいは、人口が減つていゝるとはいえ、その村へ残つていらつしやる方と、子どもさん方が里部の方に住まいを持つていらつしやる方、そういう状況は私としては一つとして考えていかないといいないというふうに思つています。

今後、山間部集落実態調査集計等いろいろ踏まえ、今後尽力していただきたいと思います。

6人の議員が一般質問



清水成眞議員

防災対策と消防団

問 放火服が団員全員分ない班があるが？

答 今年度中に、すべての班に2名分の放火服を整備したい。また、予算が整えば、全員分を整備する

清水

消防団組織の編成については、たとえば、編成を変えたいということであればそれが議案を出し、どこが審議し、最終的にどこで結論を出すのか？

町長

消防団組織を変更するためには、まずその必要性や方向性について消防団幹部の皆さん等と意見交換を行い、改正案を作成し、三朝町消防審議会に諮問します。次に、この審議会で改正案について十分

清水

ご審議いただき、その結果について町に答申いただくこととなります。そして、この答申を踏まえて、町が消防団組織の変更について方針を決定し、議会の皆さんに報告するという流れになります。

消防団員から「辞めたい。」という声を聞くことがある。減少原因についても検証されているとは思いますが、退団防止について何らかの策を講じる必要があると考える。

町長

団員が、退団される理由は年齢や家庭の事情によるもので今年度は18名の方が退団された。今後は、消防団

清水

幹部等関係者の皆さんと十分協議してどんな対応が出来るのか検討していきたい。消防組織法（昭和22年法律第226号）第15条の6第2項（現行「第23条第2項」）の規定に基づき、消防団員服制基準を定めている。

町長

その中に、「防火服」が団員全員分ない班や、「消防団員手帳」という基準がありますが、三朝町では、その基準を満たしていないと考える。このことは、労働条件義務違反にもなり得ることだと考えるがどうか？

清水

労働条件義務違反には、あたらないものと考えています。現在、大規模災害発生時に、寺院が避難者受け入れ先などとして機能することに期待が集まっている。提案だか、町内のご寺院を、災害時の避難場所や、本堂などを炊飯所などにする協力関係を協定とい

町長

う形で取り決めをしただろうか。

清水

現在、町内には11のご寺院がある。本町の災害時の対応を考えると、最寄りの指定避難所が手狭であったり、また、一時避難先となる区の公民館が土砂災害特別危険区域内にある箇所もあるので今後、検討してみたい。

町長

鳥取県では、鳥取市が今年6月28日に、気象庁鳥取地方気象台と「災害発生時等における防災協力に関する協定」を締結した。ぜひ、三朝町においても、気象台の情報がいち早く町民に伝えることが出来るよう気象庁鳥取地方気象台との協定を一日も早く結んでいただきたい。

清水

かと考えています。各地区の地域協議会を、「コミュニティ防災センター」として整備したらどうかと思う。つまり、6つの地域協議会に様々な防災資材や非常食料等を備蓄している防災資機材倉庫を整備し、災害時には、各施設が収容避難所となる施設としていろいろなものを準備しておけばどうか？

町長

災害時に備えて、資機材を分散備蓄することは、重要なことだと認識しています。現在地域防災計画の見直しを進めています。その中で、地区公民館等を地域防災拠点として整備し、避難所機能だけでなく、現地対策本部、消防団の支援部隊のベースキャンプ、救援資機材の中継・分配拠点とすることで検討しています。非常食、飲料水・毛布などは、地域協議会等への拠点施設等での分配備蓄については、今後検討してみたい。



福田茂樹議員

教 育

問 今後の三朝町の教育行政は？

答 ①生きる力を育む教育

②地域の子どもは地域で育てる

③三朝町ホームページで委員会会議録を公開

④小学校の統合は3月の最終報告書で

教育委員長

①我が町の子ども達をどのように育てていくのかは、新しい学習指導要領がスタートし、その理念は、生きる力を育む教育です。生きる力とは、自らが考え、自らが判断し、自らの言葉や文章で表現する。これらの力を育むことであります。すなわち思考力、判断力、表現力、こ

の三つを育む教育で、生

きる力は、子ども達が将来困難に直面した場合にも残り得る大きな力となります。

ですから、私は我が町の子ども達に生きる力を育む事を基本方針としたい。

次に、各学校では、「早寝、早起き、朝ごはん」の標語で呼びかけ、規則正しい生活をおくらせる取り組みを行っています。

②子どもと地域のつながりは、学校ボランティア、また地域協議会とのつながりを持っています。

③教育委員会の透明性の現状は、三朝町ホームページの中で会議録を公開、さらに会議も公開しております。

④小学校の今後のあるべき

保 育 園

問 ①賀茂保育園の指定管理は

②みささこども園は公設公営か

③竹田保育園は分園化にすべき

答 ①賀茂保育園は引き続き指定管理

②みささこども園は当面（10年程度）公設公営

③竹田保育園は分園化も検討

姿は、今年3月に中間報告書をまとめたところで。その後、各地域協議会、学校、保育園の保護者などの方からアンケートなどを行ったところです。極めて重たい課題では

ありますが、3月の最終報告書の作成に向けて、5人の委員の意見をしっかりと集約して、教育委員会としての方針をお示ししていきたい。

町長

①賀茂保育園の今後の運営におきましては、これまでの福生会による管理運営につき評価を行った。その結果、

保護者や地域の皆さんとも良好な関係を保ち適正な管理運営に努めてこられた実績から、引き続きお願いする事とした。

②みささこども園は、概ね10年間は公設公営の施設として運営して参りたい。まずは公設公営により町

針等を示し実践する事で、子育てに関して保護者の皆さんからの安心と信頼を確保していきたい。

③竹田保育園は築33年の施設です。今後のあり方については、園児の数が現在12人という実態や、今後の園児数の推移等も踏まえ、賀茂保育園の分園化も一つの案としてとらえ、施設のリフォームの必要性も含め、そのあり方について検討していきたい。

行動計画

問 第2弾三朝町の自立に向けた変

革のための行動計画を作るべき

答 第2弾を作っていく

町長

平成17年に行政改革の推進計画である三朝町の自立に向けた変革のための行動計画を策定。また翌年には、その進捗管理表を公表し、事務事業及び行政組織等の改革に取り組んで来ました。

今、町政を取り巻く環境が変化してきておりますので、第10次三朝町総合計画との整合性を図りながら、第2弾三朝町の自立に向けた変革のための行動計画を策定していきたい。

6人の議員が一般質問



遠藤勝太郎議員

学校

問 小学校の統合について

答 平成24年度末に最終報告を提出する

遠藤

町内の三校の小学校では、少子高齢化に伴い児童数が減少、将来大幅な増加が見込めない中、いつまで現状を維持されるのか。統合を打ち出しても、実現するまでに相当の期間を要すると思われるが。

教育長

適正な教育環境を整えるためには、小学校の形態はどうあるべきかの視点に立って統合のあり方を検討、町民皆様のご意見を真摯に受け止め小学校統合のあり方につき熟慮を重ねている。三朝町のすべての子ども達が充実した教育が受けられることを第一義として、地域振興、財政面も考慮しながら年度末の最終報告書の作成に取り組む。

保育

問 保育料について

答 このままの設定で十分対応していける

遠藤

平成25年4月には、みささこども園が開園されます。町長は、本町の保育料は県下一安いと言われていると思いますが、所得による応能割は、今9段階に区分して徴収されておりますが、階層を半分ぐらいに減らして設定する考えはないか。

町長

本町では初となる幼保一元型の子育て施設として、みささこども園を開園。保育料は県内で一番安い保育料を基本としており、幼稚園に相当する短時間利用者の方の保育料は長時間利用者より、おおむね三割程度安く設定しており、町外に預けておられる方も町内の子育て施設を利用していただきたい。幼稚園部分の保育料を一律にして低所得

遠藤

遠藤

農業

問 米の生産について

答 関係者の意見を聞いて努力する

町民課長

現在の大方の幼稚園の保育料と比較者には差額を町が助成措置する考えはないか。

遠藤

して、この設定の金額は現在の幼稚園の保育料より安くなっているという今の現状であり、このままで十分対応していける。やはり、もう少し簡素化されるべき、再度検討を求めたい。

町長

平成24年産米の一等米比率が、本町ではコシヒカリ88%、特別栽培米コシヒカリ0%、きぬむすめ100%であった。本町で取り組んでいる特栽培コシヒカリのブランド化も一等比率がゼロではブランド化は難しい。昨年、特Aを取得したきぬむすめを銘柄米として推薦する方がブランド化への近道だと思っている。

本町が三朝米をブランド化するために特別栽培コシヒカリを推奨しているの

遠藤

町長

は、比較的どこでも、ある程度のよい食味のお米が生産でき、味も日本人好みの味で、人気の品種であるという理由。きぬむすめを推奨して栽培面積を拡大する事も必要。

夏場の暑さに強い品種をJA、普及所等と検討し、本町に適した品種の導入が必要ではないか。

本町にどの品種が一番いいのか、もっと選別する必要がある。関係者のご意見を聞き、なお一層研究する。



杉原憲靖議員

エネルギー

問 省エネ対策は再生可能エネルギーの推進を図るべきだ

答 本町に適したLED化と再生可能エネルギーについて研究していきたい

杉原

東京電力福島第一原子力発電所の事故を受けてエネルギー政策の大きな転換が問題となり、それはまた電力分野だけの問題ではなく社会全体で考えなければならぬテーマとなっている。

いる。

ひっ迫する電力事情を背景に省エネ対策として公共施設へのLED照明の導入は積極的に検討すべき課題だと思う。

この事は電気料金値上げによる財政負担の軽減を図ることにもつながるわけである一方、民間資金を活用したリース方式によって導入を進めている自治体もあるがどう思うか。

町長 省エネ対策について、改めて認識を深めていくことが重要だと考えている。

杉原

来年4月に開園予定のみささこども園の照明をLED化していく。
現在、役場庁舎に設置した省エネ型蛍光灯より節電効果が高く、安価で高機能なLED照明器具も販売されているので、今後他の事例も参考にしながら研究していきたい。

太陽光や風力などの再生可能エネルギーの固定価格買取制度が昨年8月に成立し、電気の調達に関する特例措置法が創設され、本年7月から導入された。

これを受けて電力の地産地消の動きが全国の地域集落等で始まっている。本町にあっても、住宅、地域集落等で取り組みやすい環境整備の促進を検討すべきだ。

町長

本町においても住宅用太陽光発電システムの設置促進のため、30万円を上限に1キロワット当たり7万5千円を補助する制度を設けており、この制度を活用された方は平成23年度までの3年間で13件あった。本年もこれまでに9件申請を受けている。

現在の社会情勢を考えると、再生可能エネルギーの普及拡大を図っていくことは重要となってくる。本町に適したことへの研究を引き続き行っていきたい。

旧竹田発電所跡地の検討を行った結果、立地、環境、経済性等を総合的に評価として判断したと報告を受けた。

平成24年度中に流量観測、魚類調査、

町長

そして国土交通省等の協議に入るとなっている。観測調査等の実態に課題はないのか。

また本町にとって、この水力発電事業は有益なことだと思っている。町内その他の地域でもこの小水力発電の可能性を検討してみようか。

町内には、現在6か所の水力発電所が稼働しており、町内の全世帯の電気使用量のおよそ6倍もの電力を供給している。

自然エネルギーを活用した小水力発電事業は魅力的であるが、費用対効果がどうかとも検討する必要があると考える。

【提出された議案】

議案の件名	内 容	採否
(11月臨時議会)		
平成24年度一般会計補正予算（第5号）	町立図書館のエアコン改修 3,500千円	可決
三朝町保育の実施に関する条例及び三朝町保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について	みささこども園の開設に伴う条例の一部改正	可決
財産の取得について	みささこども園用地の取得 相手方 三朝町土地開発公社 取得面積 5,077.72㎡ 取得価格 115,358,730円	可決
(12月定例議会)		
専決処分 平成24年度一般会計補正予算（第6号）	衆議院議員選挙執行費 11,689千円	承認
専決処分 平成24年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第1号）	衆議院議員選挙執行費による職員人件費の補正	承認
平成24年度一般会計補正予算（第7号）	補正額 146,564千円 補正後予算額 5,251,715千円	可決
平成24年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	補正額 △494千円 補正後予算額 884,569千円	可決
平成24年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	補正額 1,088千円 補正後予算額 902,540千円	可決
平成24年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	補正額 △39千円 補正後予算額 32,261千円	可決
平成24年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）	補正額 1,946千円 補正後予算額 24,146千円	可決
平成24年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第3号）	補正額 895千円 補正後予算額 112,704千円	可決
平成24年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第2号）	補正額 △3,184千円 補正後予算額 1,830,462千円	可決
平成24年度三朝町財産区特別会計補正予算（第2号）		可決
平成24年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）	砂原ポンプ場移転工事を翌年度として減額 △10,800千円	可決
三朝町指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する資格並びに事業の人員、設置及び運営に関する基準等を定める条例の設定	地域自主権改革第二次一括法に伴う条例の設定	可決
三朝町多目的展示施設の設置及び管理に関する条例の設定	地域民芸品等保存伝習施設からの変更と指定管理制度への移行	可決
三朝町立中学校及び小学校設置条例の一部改正	福山分校の廃校による	可決
三朝町移動等円滑化のために必要な特定公園の設置に関する基準を定める条例の設定	地域自主権改革第二次一括法に伴う条例の設定	可決
三朝町公共下水道の構造の基準を定める条例の設定	地域自主権改革第二次一括法に伴う条例の設定	可決
布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例の設定	地域自主権改革第二次一括法に伴う条例の設定	可決
町道路線の認定	町道健康むら線	可決
賀茂保育園の指定管理者の指定	福生会を指定管理者に指定	可決
鳥取中部ふるさと広域連合規約を変更する協議		可決
(追加議案 12月17日)		
三朝町議会会議規則の改正	自治法改正による	可決
三朝町議会委員会条例の改正	自治法改正による	可決
妊婦健診と、ヒブ、小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣に提出	可決
監査委員の選任	和泉沢吉氏の選任の同意	同意
三朝町名誉町民	故松村喬成氏への称号贈呈	同意
人権擁護委員の推薦につき意見を求める	安本紀子氏の推薦	適任

【陳情】 1 2 月定例会の陳情に対する審査結果です。

件 名	提 出 者	審査結果
原子力から再生可能な自然エネルギーへの源の転換を求める陳情	反核・平和の火りレー鳥取県実行委員会 実行委員長 小谷 明寛	趣旨採択
島根原発1号機・2号機の再稼働反対と3号機の建設凍結を求める陳情	反核・平和の火りレー鳥取県実行委員会 実行委員長 小谷 明寛	趣旨採択
妊婦健診と、ヒブ、小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書提出の陳情	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子	採択
年金2.5%削減中止を求める意見書の陳情	全日本年金者組合 鳥取県中部支部長 平井 隆	趣旨採択

注釈：陳情の審査結果で、即予算がつくものではありません。



平成24年 福山集落

三朝今昔 ⑭

旧福山分校の運動場から福山集落の上ミ側を見た写真です。

福山集落の人口推移を見ると、国勢調査では昭和30年人口140人で24世帯を数えていましたが、昭和40年には89人と急激に減少傾向となり、平成24年12月31日現在の住民基本台帳によると人口19人、11世帯となっている。

写真の左側に、平成24年12月に廃校となった旧福山分校が見え、その前を県道が走っている。

この道路は主要地方道倉吉福本線であり、倉吉市の広瀬とつながる道路として計画され、昭和50年代に農業基盤整備事業とあわせ、2車線の道路として拡幅整備されたものであるが、整備は集落内までとなっている。



昭和43年 福山集落

おわりに

ちよつとひとこと

年月の経つのも早いもので、三朝町が誕生して60周年を迎える。その間年々人口も減少し1万1千人台から7千人台になり、奥部集落では集落維持も危ぶまれる所さえ出てきた。

昔はどの集落でもこどもの声が出て賑やかだったが、今ではこどもの声も聞こえない集落が多くなってきた。若者の定住促進に繋げる施策が必要で、これらにより人口増加を図らなければ本町を維持するのも困難な時代がやってくる。

町の主力産業を活性化すると、雇用の場の提供も併せて考えなければならぬ問題である。

三朝温泉が発見されてから今年で850年と記念すべき年であり、温泉街の空き家対策や観光客で賑わう街へ再生することが早急に求められる。

今年は巳年であり、色々な面で脱皮して大きく成長する年にしたいものだ。

(遠藤勝太郎 記)

議会広報常任委員会

委員長 杉原 憲靖
副委員長 清水 成眞
委員 横木 文雄
委員 吉田 文夫
委員 遠藤勝太郎